

小笠原中学校

学校だより

第1号
4月

平成30年4月11日
小笠原村立小笠原中学校
校長 新妻 茂
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>

あらためて「紳士たれ 淑女たれ」

校長 新妻 茂

「紳士たれ 淑女たれ」は本校の校訓です。平成19年に当時の校長である伊藤直樹先生（前校長）が制定したものです。

私の手許に「札幌農学校」という本があります。これは本校PTA会長の吉井さんが北海道大学出身であることから学校に寄贈されたものです。その中にこんな件があります。

（札幌農学校）開校にあたって仮学校時代の苦しい経験を持っている当事者たちにまず課せられた問題は、早急に学則を定めることであった。開校式を終えた数日後、彼らは学校規則の設定を持ち出してクラークに意見を求めた。当事者たちの言葉を黙ってきいていたクラークは、はっきりと、つぎのように力強くいった。

「こんな細則を設けてする教育では、真の人間教育ができないのではないか。 ”紳士たれ “ Be Gentleman それだけで沢山ではないか」。

（中略）

“紳士たれ”ということは、規則以上のことを求めているのである。なぜならば、紳士たらしめるものは、生徒としての資格がないものとして退学を命ずることも辞せず、という厳然たる態度がクラークの基本姿勢だったのである。（中略）紳士たるものはすべて規則を重んずるが、規則でするのではなく自己の良心と責任にしたがって行うべきである。このようなことはけっして学校の規則で規制すべきことではない。クラークはそういつているのであった。クラークは「余は諸君を紳士をもって対するであろう。故に諸君はよろしく自粛自重、よく紳士たるに任ぜよ」と宣言し、各自の自覚ある生活態度を念願していた。

クラークとは、みなさんもよく知っている”少年よ大志をいだけ” Boys,be ambitious と農学校を離れるとき（1877年4月16日）に言ったとされる札幌農学校初代教頭のクラーク博士のことです。

「紳士たれ 淑女たれ」というのは、規則以上に自己の良心と責任によって行動することが求められているのです。入学式で私は次のように述べました。このことを肝に銘じて欲しいのです。

みなさん一人一人は小笠原中学校で、自分自身の成長のために、楽しく安全に学ぶ権利をもっています。このことは言い換えると、他の人が学ぶことを妨害したり、他の人の心や身体を傷つけたり、他の人が意見を発表することを妨げたりしない義務を一人一人が負っているということです。つまり、「いじめ」や「暴力」、授業を妨害する、教室で騒ぎ立てる、他人をからかう、他人が不快に思う、というようなことがあってはならないということです。さらには、「他人が不快に思う」ということの中には、授業に遅れたり、教室の中で学ばないということも入るでしょう。今、みなさんがこのような状況にあるとは思いませんが、今後も、小笠原中学校の「紳士・淑女」として振舞ってください。

4月の主な行事

6日（金）始業式	16日（月）交通安全教室
9日（月）入学式	17日（火）全国学力・学習状況調査（3年）
10日（火）生徒会オリエンテーション 新入生歓迎レクリエーション	18日（水）芝生の日
11日（水）身体計測	20日（金）歯科検診
12日（木）保護者面談(始)24日まで 尿検査	25日（水）お弁当の日
13日（金）自転車安全点検 避難訓練 保護者会	26日（木）PTA総会 修学旅行保護者説明会
	29日（日）昭和の日 バドミントン部遠征出発

新年度スタート

新入生19名を迎え、全校生徒55名で平成30年度が始まりました。教職員一同、一丸となって取り組んで参ります。

今年度の異動、教職員組織についてご報告いたします。今年度もよろしくお祈りいたします。

平成30年度教職員組織

職名	氏名	教科	学年	分掌
校長				
副校長				
主任教諭				
教諭				
教諭				
教諭				
主任教諭				
教諭				
教諭				
養護教諭				
主任教諭				
主任教諭				
教諭				
教諭				
事務				
スクールカウンセラー				
英会話指導員				
用務				

離任された先生、職員から

毎年、島を離れていく方を見送るたびに、「いつかは自分が離れるときが来るんだな」と思っていたのですが、ついにそのときがやってきてしまいました。離任式では生徒達に話しましたが、父島は、私たち片岡家にとって特別な場所です。ここから夫婦の生活が始まり、「島っ子」を授かることができました。生徒達にも、息子をたくさんかわいがってもらいました。家族としての思い出が詰まったこの父島を離れることは本当に寂しいですが、いつかまた、家族で帰ってきたいと思います。この3年間、温かいご支援ご協力を賜りました保護者や地域の皆様、そして、小笠原中学校の生徒の皆さん、ありがとうございました。行ってきます！

3年間という短い時間でしたが、家族共々大変お世話になりました。みんなと授業や行事、学校内外で楽しく過ごした時間は、私の人生にとってとても幸せで大切な財産となりました。みんなの一生懸命に取り組む姿は大好きでした。また、小笠原でしかできない経験もたくさんさせていただき、思い返せばそのどれをとってみても学びのある楽しい思い出ばかりで忘れられません。小笠原という素敵な出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりましたが、保護者や地域の皆様にも大変お世話になりました。感謝の気持ちを申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

教員になって初めて赴任する中学校が小笠原諸島にあると知り、島に来る前は期待と不安な気持ちでいっぱい

でした。実際には、学校の中では中学生のいきいきとしたエネルギーに、学校の外では島の方々の温かさや自然の美しさに、心揺さぶられる毎日を送ることができました。しかし、その中で怪我を繰り返してしまい、ご迷惑をおかけして申し訳なく感じています。自分の不甲斐なさに落ち込んでいましたが、多くの方々に声をかけていただき、沈んだ心が復活しました。皆様に支えていただいた経験を土台として、この先も頑張ります。たくさんお世話になり、ありがとうございました。父島が大好きなので、また来たいです。



赴任された先生、職員から

教科は数学を担当します。初めての異動で不安でいっぱいでしたが、出迎え式で生徒や保護者、地域の方々が歓迎してくださり、一気に不安が消えました。本当にありがとうございました。こんな小笠原で仕事ができることを嬉しく思っています。今は新しい学校、新しい生活、新しい出会いに胸が躍っています。

「数学は苦手だ」と思っている人もいるかもしれませんが、コツコツ取り組めば、着実に力がついてきます。粘り強く頑張っていきましょう。小笠原の良さをもっともっと知りたいので、これからたくさん教えてください。

ヤシの実学級を担当します。自然豊かな小笠原で生活し、勤務できることを楽しみにしながら今日この日を待ちわびてきました。出迎え式では、とても温かく迎えていただき、とても嬉しく感じるとともに、小笠原での生活がスタートした実感をもちました。早く生活に慣れて、皆さんと一緒に小笠原の魅力をたくさん見つけたいと思っています。

授業では、みなさんの授業の様子をみたり、時にはサポートしたりすることがあると思いますのでよろしくお願いたします。

出迎え式でのあたたかなお出迎えには感動しました。小笠原には以前より赴任したかったのですが諸事情のためできず、今回やっと希望が叶いました。前任校には小笠原小学校にいた先生がいて小笠原の話沢山聞いていました。自然が好きなので、それに関連するようなスポーツやボランティアなどにも積極的に参加したいと思っています。素晴らしい自然のもと、温かな皆さんの中で仕事ができることを嬉しく思っています。よろしくお願いたします。

第51回入学式

第51回入学式が4月9日（月）に行われました。緊張感の中、希望にあふれる表情、男子13名女子6名計19名が入学しました。新入生の活躍を期待します。

新入生（男子13名・女子6名）

	氏 名		氏 名		氏 名
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

新入生 誓いの言葉

私が中学生になって、一番頑張ろうと思っているのは勉強と部活の両立です。勉強では、特に苦手な数学と理科を頑張りたいです。中学校では、教科ごとに先生が違ったり、通知表の評定が5段階になったり、一年間のうちに期末テストなどのいくつかの大きなテストがあったり、小学生のころとは変わってくることも沢山あります。そんな変化にもしっかり付いていけるように、授業中は先生の話をちゃんと聞いて、家での予習復習を欠かさず、丁寧にやっていきたいです。

部活では、バレー部に入りたいと思っています。きっかけは、先輩に誘われたことと、6年生のときに部活動見学にいったら、先輩が丁寧に教えてくれたことです。中学生になって部活に入ることにはすごく不安がありました。でも先輩達はみんな優しくしてくれたので、今では部活に入るのが楽しみになりました。

勉強と部活の両立は、すごく大変だと思います。でも、勉強の時間と部活の時間にはちゃんと区切りを付け、やる時はしっかりできるようにしたいです。そして、みんなに信頼してもらえるような、立派な中学生になりたいです。

2年生の皆さん、3年生の皆さん、部活や授業などで交流する機会が増えると思うので、是非、仲良くしてください。そして、先生方、これから三年間たくさん勉強するのでよろしくお願いします。

平成三十年四月九日



お知らせ

○4月、PTA関係の会議等が次の日程で予定されています。よろしくお願いいたします。

4/13(金) 保護者会(16:00～)

4/16(月) 学級委員会(17:15～) 各部会(17:30～) 会計引き継ぎ(17:30～)

新旧役員会(18:00～) 会計監査(19:00～)

4/20(金) 常任委員会(18:30～) 選挙管理委員会(常任委員会終了後)

4/26(木) PTA総会(17:30～)

保護者・地域の皆さまへ

小笠原中学校の教育目標と学校の教育目標を達成するための基本方針を掲載いたします。改めて、昨年度までの本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝申しあげるとともに、今年度も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

(1)小笠原中学校の教育目標

- よく学び、考え、行動する人
- やさしくたくましい人
- 社会の一員として貢献できる人

(2)学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 確かな学力を育むために、望ましい授業態度の保持と家庭との連携を図り、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。

イ 個性や能力を最大限に伸ばすために個に応じた指導を充実させる。また、特別支援教育コーディネーター及び校内委員会を中心に、家庭やスクールカウンセラー、関係諸機関との緊密な連携を進め、特別支援教育の充実を図る。

ウ 人間性を豊かにし、規範意識を高めるために、心の教育及び人権教育を教育活動全体で推進し、道徳性を養う。異年齢集団を意識的に組織し、生徒会活動や学校行事及び地域の活動等に積極的に取り組ませ社会性を育成する。

エ 健康・安全に生活する力を培うために、食に関する理解を深め、自己の健康に対する意識を高めるとともに、体を鍛える。教員の研修を充実させ、体力向上に向けた研究開発を推進する。

オ 社会の変化に対応できる力を高めるために、問題解決的な学習を行い、課題対応能力を育成する。社会の変化に自立的に対応できる力を養うとともに、キャリア教育を教育活動全体で行い、基礎的・汎用的能力を育成し、社会的・職業的自立をめざす教育活動の充実を図る。

カ 開かれた学校の実現を目指し、家庭・地域との連携を密にするとともに、学校関係者評価等を活用して学校改善を図り、保護者・地域・生徒に信頼される学校づくりを進める。

キ 公開授業、ホームページの更新、学校便りの配布等の広報活動を行い、家庭・地域社会・関係諸機関等と連携し、多様な人々との協働を促す教育活動の一層の充実を図る。

ク 系統的な教育活動を進めるために、小笠原小学校、母島中学校、都立小笠原高等学校と研修会や合同行事、小中高教科交流等を通し、さらなる連携を推進する。

※平成30年度小笠原村立小笠原中学校教育課程より抜粋

本校ではホームページ、Facebookを開設しています。ホームページでは学校案内、生徒の活動、各種通信を掲載しています。Facebookでは日頃の生徒の活動等をいち早くご案内しています。ご覧頂けますと幸いです。

ホームページ <http://ogachu.que.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>